

2 取り組み方針の点検結果（平成28年度）

評価	評価の状況	点検結果
◎	年度目標値を達成している	12
○	すでに実施している(進行中)	16
△	計画が思うように進まない	6
×	実施していない	1
合計		35

目指すべき環境像 基本目標	個別目標	取り組み方針	指標	目標値	達成年度	現状	担当課	評価	
自然と共生するまちづくり 基本目標1	1-1 生物の多様性や自然環境を保全する	武田氏館跡周辺における貴重植物の生態保護	貴重植物の種数	現状維持	各年度	2種	文化課	◎	
		水田における冬期湛水管理の推進	冬期湛水管理を実施する水田の面積	年間0.3haの実施		0ha	農政課	×	
	1-2 水環境を保全する	水源かん養機能等の高い森づくりの推進	水源林植樹の集いにおける整備面積、参加者数	総面積 3ha	平成25年度～平成34年度	0.3ha	林政課 上下水道局水保全課	○	
				総参加者数 3,000人		385人			
	1-3 緑を保全する	地域や家庭における緑化の推進	花いっぱい緑いっぱい運動での花の苗の配布数	年間11万株	各年度	106,926株	公園緑地課	○	
				年間5回の開催		5回			
		身近な緑地等の確保及び保全	市民と協働で管理する公園・緑地等の箇所数	前年度以上		38カ所	公園緑地課	◎	
				地球温暖化防止につながる森林整備の推進		森林整備の面積			100ha
	快適環境のまちづくり 基本目標2	2-1 大気汚染を防止する	大気汚染に係る環境基準を達成する	環境基準達成率(光化学オキシダントを除く物質)	達成率100%	各年度	99.9%	環境保全課	○
				環境基準達成率(光化学オキシダント)	前年度より改善		94%		
2-2 水質汚濁を防止する		水質汚濁に係る環境基準を達成する	環境基準達成率	達成率100%	各年度	100%	環境保全課	◎	
				生活排水対策を推進する		生活排水処理率			達成率99%
2-3 土壌・地下水汚染を防止する		土壌汚染の発生を防止する	汚染発生件数	発生しないこと	各年度	1件	環境保全課	○	
				地下水に係る環境基準を達成する		環境基準達成率			達成率100%
2-4 騒音・振動・悪臭の発生を防止する		騒音に係る環境基準を達成する	道路交通騒音に係る環境基準達成率	前年度より改善	各年度	98.5%	環境保全課	◎	
			生活空間の騒音に係る環境基準達成率	達成率100%		100%			
2-5 化学物質による汚染を防止する		化学物質による環境リスクを低減する	化学物質の環境中への排出量・移動量	前年度より改善(県全体)	各年度	未公表	環境保全課	未評価	
				騒音・振動・悪臭に関する公害の発生を減らす		騒音・振動・悪臭に関する公害苦情件数			前年度より減少
2-6 快適環境を保全する	良好な景観や自然環境を保全する	規制等への違反件数	発生しない	各年度	1,614件	都市計画課	△		
			武田氏館跡整備事業の推進		整備済み面積			前年度より増加	1.14ha
2-7 地域美化の促進(不法投棄や犬等のふんの発生防止・空き地等の適正管理)	不法投棄の発生を減らす	不法投棄発生件数	前年度より減少	各年度	143件	収集課	◎		
			2-8 資源物等の持ち去りを防止する		資源物等の持ち去り行為を減らす			持ち去り行為発生件数	前年度より減少
低炭素のまちづくり 基本目標3	3-1 再生可能なエネルギーを推進する	温室効果ガス排出量の削減	温室効果ガス排出量	853千t-CO ₂	平成42年度	未公表	環境保全課	未評価	
		太陽エネルギーの活用(住宅用太陽光発電システムの導入)	温室効果ガス削減量	1,100t-CO ₂ /年		未公表			環境保全課
	3-2 クリーンエネルギー自動車の普及を推進する	クリーンエネルギー自動車の普及促進	急速充電器の整備箇所数	市内20カ所	平成42年度	0カ所	管財課 環境保全課	△	
			普通充電器の整備箇所数	市内50カ所		0カ所			
3-3 低炭素型ライフスタイルへの転換を推進する	住宅・機器による省エネの推進	市が管理する道路照明灯のLED化数	毎年度4基	各年度	43基	道路河川課 環境保全課	◎		
3-4 低炭素型移動手段への転換を推進する	エコドライブの推進	講習会参加人数	100人/年	平成42年度	58人	環境保全課	○		
	エコ通勤・エコ通学等の推進	エコ通勤優良事業所数	延べ15カ所		1カ所			環境保全課	○
	公共交通機関の利用促進	公共交通機関の輸送人員	現状維持		各年度			272万人	交通政策課
循環型のまちづくり 基本目標4	4-1 3Rの実施を推進する	家庭系可燃ごみの減量の推進	市民1人1日あたりの可燃ごみ排出量	480g以下	各年度	525.25g/人・日	減量課	△	
		有価物・資源物の回収の推進	資源化率(リサイクル率)	28%以上	平成28年度	17.62%	減量課	○	
		最終処分量を減少する	焼却残渣の排出量	前年度比1%減	各年度	6,424.2t	処理課 減量課 収集課	◎	
		3R啓発の推進	ごみ減らし隊による延べ活動回数、延べ参加人数	活動回数180回 参加人数1万人	平成24年度～平成28年度	240回 9,849人	減量課	○	
	事業系廃棄物の排出を削減する	事業系一般廃棄物の排出量	前年度より減少	各年度	26,108t	収集課	○		
4-2 持続可能な農業を推進する	経営耕地面積の維持	経営耕地面積	881haを確保	平成32年度	982.5ha	農政課	◎		
	エコファーマーの推進	エコファーマー認定人数	年間3人	各年度	1人	農政課	○		
環境教育を推進する 基本目標5	5-1 イベントの開催や人材育成を推進する	地域・家庭における環境教育の推進	地球温暖化防止関係の出前講座や講習会・イベント等の参加者数	100人/年	平成42年度	7,800人	環境保全課	◎	
		地域の人材育成の推進	地域コーディネーターの人数	延べ100人		0人			環境保全課
	5-2 学習の場づくりを推進する	保育園(園)・幼稚園・小学校における学習の場づくり	参加者数	1,600人/年	平成42年度	2,040人	環境保全課	◎	
	5-3 自然とのふれあいの場づくりを推進する	自然環境とのふれあい事業の推進	水道水源地クリーン作戦への参加者数	参加人数200人	各年度	194人	上下水道局水保全課	○	
5-4 市民参加を推進する	多様な担い手による地域の温暖化防止活動等の推進	地域で活動する団体と協働・連携によるイベント等の開催	5回/年	平成42年度	3回	環境保全課	○		